



初春を祝い新年会盛大に開催

アットホームの雰囲気の中、会員とご家族参加72名

東村山稲門会の平成26年の最初のイベントである新年会は、1月18日（土）午後5時より「サンパルネ・コンベンションホール」で会員とご家族の参加の下、アットホームの雰囲気の中開催されました。

会は、昨年の総会で新会長に就任しました當間会長のご挨拶で始まりました。会長として最初のイベントであった「第84回雑学講座（映画会）」が市民を中心に150余名の参加の下、無事実施できたこと、当会の誇りであるニュースが1月で202号になったことに対し会員の皆様のご協力に対する感謝のお言葉がありました。「遠くの親戚より地元の稲門会、東村山稲門会でふれあいの輪を」の名言を述べられました。

続いて、年齢よりズートお若くみえる幸田瑞雄さんのスピーチと乾杯のご発声により、マンドリンのBGが流れる中、賑やかな懇親会が始まりました。幸田さんは、「早稲田大学は開校132年目で、今から世界の一流校へと成長過程にあり、18年目の我が稲門会も大学と共に活動している訳です。東村山稲門会は、老若男女問わず純粋に会の為につくしており、この良い流れを継続して行きたい」とご挨拶されました。

歓談の中、12月に入会した木野友博さんから自己紹介のスピーチがありました。ジャーナリストの職業経験と豊富なご趣味によって、会に新風を起こして頂けると思っております。又、当会の自慢のもうひとつに加わったホームページの作成に多大な貢献をして頂いた、野田淑子さんの表彰も小亀前会長によって行われました。希望者スピーチの中、早稲田大学前理事、迫田実さんからスピーチを頂きました。昨年末、早稲田大学を定年退職して、2月から大阪の大学に奉職するので、会の行事に参加できなくなるかもしれないが、心は東村山稲門会の中にあるとのお言葉を頂きました。

その後、出席会員お楽しみの新年会恒例の福引が、小野智さんのウィットにとんだ司会の下に始まりました。47名の当たりくじは、今回ご出席頂きました貴婦人よりくじを引いていただき、引くたびに歓声が上がりました。この度は、担当幹事さんのご努力により、くじに外れた人にも全員にお土産が授与されました。

宴もたけなわの頃、今年101年の歴史を誇る、日本屈指のマンドリン楽部の演奏による歌唱が、代表の大橋忠弘様の司会によって始まりました。合唱曲は、青い山脈、知床旅情、学生時代でし
サプライズとして、1月、2月のお誕生者に対し、ハッピーバースディの歌を全員で合唱しました。今回の演奏者は、早稲田大学OGの林真衣様と予定した演奏者に代って急遽参加して頂いた慶応大学OBの中塚慧様でした。

会が滞りなく進行する中、小森敏孝さんの元気な指揮により、東村山稲門会の歌と早稲田大学の校歌を全員輪になって斉唱し、早稲田大学校友会、東村山稲門会、新会長の當間会長に声高々にエールをおくりました。最後に池田副会長より、今年の干支にちなんで含蓄のある締めのご挨拶を頂きました。「老いて益々盛んな7歳馬」「7歳馬 暁天駆ける 明けの春」今年喜寿を超えて元気に参加して頂いた方々に対する感謝のお言葉と会員の皆様が益々壮健でご活躍されることを祈っております。私共事務局一同も當間新会長の下、東村山稲門会の益々の発展に努力いたしますので、今後共、ご指導と叱咤激励をお願いしますとの挨拶がありました。



今年の新年会は、今まで出席されなかった会員の方々の多数の参加がありましたことは、会員の皆様の努力の賜物と思っております。来年の新年会も会員の皆様方と笑顔で元気にお会いできることを祈ってやみません。

参加者 敬称略

青山稔 赤荻洋一 阿部茂 井垣和太 池田孝 石井久長 石川武 市川彰彦 井原徹 伊吹史郎 江藤昌明 大内一男
大森平八郎 岡田一郎 小野智 加藤正俊 木谷肇 久世利夫 倉田哲也 幸田瑞雄 紅松容子 紅松喬 小亀輝雄
小林俊治 小林傳 小森敏孝 坂本英夫 塩田典夫 重原真知子 高橋正夫 高鷲近 滝川桜子 滝来京子 田口政澄
田島隆夫 月森通夫 土橋雄次 當間昭治 當摩照夫 戸田志郎 豊田友吉 内藤慎 長井治 長野長正 成田延雄
南湖修一 額田伊久夫 野田直 野中昭夫 樋地正秀 深瀬聡 福田昇七 堀田秀夫 三宅良太 森本吏
守屋幸一郎 山本岩男 吉田勝 吉田劭文 迫田実 佐々木晶敏 藤澤博恭 木野友博 木谷奥様 小亀奥様
當間奥様 野田奥様 福田奥様 倉田奥様 マントリン楽部 大橋忠弘 林真衣 中塚慧 以上 72名

東村山市と姉妹都市である柏崎市の、柏崎稲門会 水野紀一会長から、昨年に引き続き新潟の銘酒「越の誉」を2本頂きました。友情に感謝致します。また、多くの会員の皆様から、飲物等の差し入れを頂き、ありがとうございました。(写真撮影 赤荻 洋一 山本 岩男 記)

会からのお知らせ

○ 平成26年3月 定例役員会

日時 : 3月8日(土) 13:00~15:30
場所 : シルバー人材センター2F会議室
17時から誕生会があります。

○ 3月、4月生まれ合同お誕生会のお知らせ

日時 : 3月8日(土) 17:00~19:00
場所 : 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分
電話 : 042-395-5646
会費 : 3,000円

3月、4月生まれの方は、このお誕生会へご参加ください。お待ちしております。(2か月合同のお誕生会開催となりますため、4月お誕生の方もこの3月10日お誕生会の実施となります。お間違えの無いようご注意下さい。)

尚、誕生月ではないが、誕生月の方をご一緒にお祝いしてくださる方のご参加も歓迎いたします。ご参加くださる方、また誕生月該当者の方で、下記されていない方は、担当幹事 滝川桜子 (042-394-8187) までご連絡下さい。

☆ 3月度お誕生の方々(敬称略 16名)

井垣和太、遠藤誠、大野恵子、岡部幹郎、大森平八郎、窪田淳治、紅松蓉子、肥沼恒夫、坂田道子、杉山信、関一誠、高柳剛、田代光一、豊田友吉、山崎光夫、松井淳

☆ 4月度お誕生の方々(敬称略 21名)

石井久長、川口雅史、金城寛文、久世利夫、河野憲一、小菅宏、重久和彦、高橋文子、滝川正義、武井勇治、土橋雄次、當間昭治、中村真弓、成田延雄、額田伊久夫、松澤宏、森川節子、八木勝利、山本岩男、吉高太郎、吉澤勇

○ 第85回雑学講座

日時 : 平成26年4月5日(土) 15:00~16:30
場所 : サンパルネ・コンベンションホール
講師 : 黒田克也氏(黒田内科クリニック院長)
演題 : 「ダイエットの話」

黒田氏は都立国立高ラグビー部OBで、杏林大卒。内科医として東村山市久米川町に平成14年クリニックを開業、スポーツドクターとして市民スポーツセンターでの医事相談等にも応じています。今回は、30キロ以上のダイエットに成功した、自らの体験談を語っていただきます。

○ 新入会員

木野 友博（ともひろ）さん 昭和40年政経卒
〒189-0003 東村山市久米川町3-3-35
（ホームページを見て申し込み頂き、入会されました。）

○ 他稲門会・校友会関係

2月1日（土） 武蔵村山稲門会総会
3月8日（土） 代議員会

當間会長 岡田副会長出席
大内副会長 山本副会長出席

なお、大内副会長は平成26年10月19日開催の稲門祭のキャンパス庭園本部・本部長を依頼され、毎月2回程度大学での打ち合わせ会に出席しています。

☆☆ 東京三多摩支部北部ブロック意見交換会兼新年会

2014年1月6日（月）ビッグボックス東大和に三多摩支部主幹事の東大和稲門会中西幹事長の呼びかけにより、北部ブロックのあきる野、小平、西東京、東久留米、東村山、武蔵村山各稲門会の幹事長・事務局長が集いました。清瀬、羽村、福生稲門会は欠席でしたが羽村、福生稲門会からは事前に意見表明がありました。

昨年8月行われた三多摩支部総会時一部稲門会から北部、中部、南部と分かれている所属ブロックの合理性について不満が表明された件や、支部運営に関する課題についてお正月早々熱心な議論なされました。具体的には①ブロック分けの意義 ②支部長任期 ③幹事長・事務局長会について意見交換をいたしました。

当日の結論としては

①現在三多摩支部におけるブロック分けの意味は、唯一三多摩支部大会の主幹稲門会の選出対象を決めるためだけに機能しているのみでブロック分けをする積極的な理由は見当たらない。現状の組み合わせは地理的に若干の不備があり、見直すのが望ましい。ブロック分けを継続する場合は、名称を「北部/中部/南部」から「第1/第2/第3」等に変更して単なる便宜上の区分とするのが良い。或いは三多摩支部を単純に12グループに分け主幹稲門会の順番を決める方法もある。

②三多摩支部が政策的な活動をしようとするなら支部長の任期が1年では不足。支部長任期は2年程度が望ましく再任を可能にしたらどうか。

③三多摩支部全体で協議する必要がある事項、単年度で解決できない事項、各稲門会共通の課題・悩み事などについての意見交換の場が必要であり23区に倣って幹事長・事務局長会を設けたらどうか、等がまとめられ中部、南部の各稲門会の意見も聞く事になりました。（大内 一男 記）

☆☆ 大学関連ニュース ☆☆

☆ 将棋 学生王座戦15年ぶり優勝

第44回全日本学生将棋団体対抗戦で早稲田大学が15年ぶり7回目の優勝を果たしました。全国8地区の予選を勝ち抜いた10大学が出場。1チーム7人ずつの総当たり団体戦で、優勝候補に挙げられていた2000年以降7回優勝した立命館大学、前回優勝の東京大学を破っての見事な優勝で古豪復活をアピールしました。

☆ キャリアセンターが学内企業説明会を実施

日本経済団体連合会が企業による学生への広報活動開始日として倫理憲章に定めた12月1日、キャリアセンター主催の学内合同企業説明会の第1弾が早稲田キャンパスで行われました。この日は学生に人気の高い39の企業・団体が参加し、約5000名の学生が参加しました。この説明会は来年6月までに約500社を呼んで順次行われます。学生に皆さんの健闘を期待したいですね。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ゴルフ同好会

世話人 紅松 喬 TEL 042-393-6924



第35回ゴルフ同好会コンペ開催

今年度最初の同好会コンペを以下の様に開催致しますので、皆様奮ってご参加下さい。

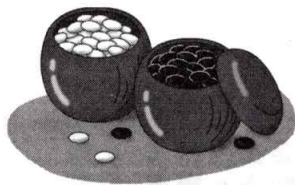
日時：3月13日（木）7:15 集合、8:00 スタート

場所：西武園ゴルフ場

囲碁同好会

世話人 福田 晃
高鷺 近

TEL 042-394-0593
042-394-2336



2月の「例会」を、次の要領で開催します。この「例会」の特長は、高段者も級位者もハンデ戦で対等に対局できることです。たとえば、七段のかたと五級のかたとでも楽しく対局できます。囲碁のルールを少しでもご存知のかたはぜひご参加ください。

- ・期 日 …… 平成26年2月15日(土) 1時開始
- ・場 所 …… 市民センター別館

4月は年2回の「大会」を予定しています。4月19日(土)を第一候補に準備を進めたいと思っています。詳細は、次号の『稲門会ニュース』でご案内します。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 042-393-5071



本年度初の例会を1月11日に行いましたが、松の内のためか、井垣さん、山本さん、それに内藤の三名でした。少し寂しい一夜でしたが皆でげんきな夜を過しました。今後よろしくお願いします。

今後の予定

2月8日(土) 17時より カラオケ家
3月8日(土) 17時より カラオケ家

テニス同好会

世話人 田島隆夫 TEL 042-396-7676

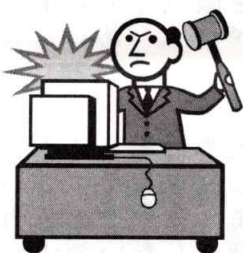


1月の例会は、1月13日(祝)、9:00~11:00まで運動公園Aコートにて行いました。快晴ながら最低気温0度と言う寒い朝でしたが、4名の方が元気に姿を現しました。今日は「初打ち」と言いながら練習に入り、身体が暖まって来たところで、例の如くダブルスの試合に入りました。昨年会長に就任した當間さんは、相変わらず多忙で、急用のため早退したので、後は3人で練習をしました。少数ながら充実した練習ができ、爽快な気分を味わうことが出来ました。都知事選の候補者の宣伝カーが、珍しくコートの近くまで来たので、選挙のことが話題となりました。

参加者(敬称略): 高橋(一)、戸田、當間、田島

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 TEL 042-391-0219
福田 昇七 042-391-9726



新年号の別刷りで「東村山稲門会ホームページの閲覧方法」をお届けしましたが、ホームページをお楽しみいただけましたでしょうか。ご不明な点がありましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

Aクラスは「年賀状」を完成させて、知り合いにお出ししました。今回は応用として「寒中見舞い」に取り組みました。次に、自分で撮影した写真を使ってフォトアルバムに挑戦中です。写真と文章を組み合わせる魅力的なアルバムの作成を目指しています。

Bクラスは、エクセルのデータベース機能を勉強しました。エクセルで作成した名簿や住所録、蔵書目録等のデータを自分の使いやすいように抽出したり、並べ替える技術です。新年初のパソコン同好会の様子を東村山稲門会ホームページにブログとして、野田直世話人がアップロードしました。ホームページを開いて中ほどの「会からのお知らせ」の中の「パソコン同好会始動しました」の文字をクリックしてご覧ください。なお、その上の「2014年新年会、賑々しく開催！」では先日行われた新年会の様子もご覧いただけます。

当面の日程は、最終ページの「同好会等 短期予定表」をご覧ください。ホームページの「スケジュール」でもご確認いただけます。

音楽同好会

世話人 市川 彰彦 TEL 042-308-8181

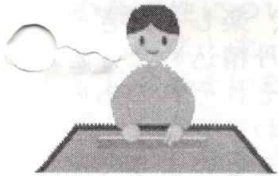


3月4日(火) 13時30分より 市民センター2階第6会議室
前号でお知らせしましたが 3月例会は春にふさわしい心の浮き立つ音楽を用意しました。音楽雑学はヴィバルディ作曲 合奏協奏曲「春」第一楽章やヨハン・シュトラウス2世作曲の「春の声」など聞いていただきます。それから守屋さんが2月に英国ウェールズ地方をまわられるそうで、その地で聴いたウェールズ地方特有の民族音楽のお話を披露してもらえればと期待しています。

富塚さんが前回に引き続き堀内孝雄の曲を紹介します。歌詞を読むと曲の良さがしっとり伝わります。

春と名のつく歌から「春」「春の小川」「春よ来い」「早春賦」「春の歌」(同名で二曲)、歌詞の中に織り込まれている曲より「荒城の月」「花の街」「朧月夜」「歌声は響く」「蝶々」「霞か雲か」「さくらさくら」あとは際限となく続きます。あとは当日をお楽しみに。

麻雀同好会

世話人 阿部 茂 TEL 042-332-0298
池田 孝 042-395-9633

第63回大会のご案内

日時 3月16日(日) 12:30~ 半荘4回
場所 サロン「園」 TEL 042-394-4444
会費 4,000円
懇親会 3,000円(希望者のみ、大会終了後、丸藤にて実施)
3月号会報には掲載しませんのでお忘れなく!

3月度麻雀オープン戦のご案内

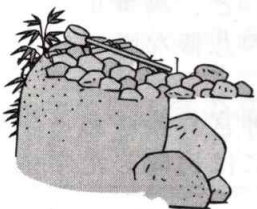
同好会では参加人員の拡張を考えていますが、この度、定例大会とは別に臨時大会を考えています。ルールを忘れた方、麻雀を覚えたい方に気軽に参加していただき、麻雀の楽しさを知っていただきたいと思います。必要に応じて専任コーチ(というほどでもないですが)が個別に対応し、OMT(オン・ザ・マージャン・トレーニング)にて責任をもってお教えします。特に女性のご参加をお待ちしています。(サロン「園」には女性のお客さんも大勢いらっしゃいますので、決して場違いではありません)

日時 3月2日(日) 12:30~17:30位
場所 上記に同じ
会費 3,000円以下の予定
懇親会 参加人数に応じて適宜場所を探し、実費にて行いたいと思います。

参加希望者 2月22日までに阿部までご連絡ください。常連参加者の方、ボランティアで専任コーチをお願いするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

俳句同好会(稲酔会)

世話人 井垣 和太 04-2924-2934



「稲酔」俳句会も今年2月で満12年。2ヶ月に1回の句会を休むことなくその都度句会報を作成し勉強を続けてきました。

次回第72回「稲酔」俳句会は、2月22日(土)に「丸藤」2階で開催いたします。どうぞお気軽にご参加ください。兼題は「雪解(ゆきどけ)」(雪消、雪解水、雪解光、雪解道など)です。

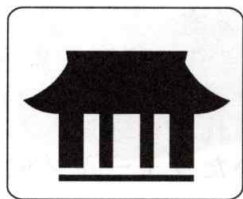
「信州信濃出身の小林一茶は、雪解を詠んだ句を80句くらい残してゐるそうです。雪解けという一現象でも、日本の気候では各地各様の自然の表情が見られ、同じ雪解川でも北と南では異なった流れで詠まれるでしょう。」

雪とけて村一ぱいの子供かな 一茶
とびからすかもめもきこゆ風ゆきげ 梅の門
父よりも子の靴大き雪解風 枕流

(稲雀 記)

郷土史の会

世話人 高橋 正夫 TEL 042-309-3407
阿部 茂 042-332-0298



「恩多町の歴史見て歩き」

今回は久米川駅から野火止用水を下り、稻荷神社、水車苑、万年橋のケヤキ、庚申塔など恩多町を見て回ります。地元の人で由來、経歴等知っている方は説明の協力をお願いします。

日時 : 2月22日(土) 10時、久米川駅北口改札前に集合

その他 : 見物を含めて2時間くらいと思います。(距離的には過去最短?)

希望者で昼食をとってから解散とします。(恩多辻〜久米川駅のどこか)

空模様が怪しいときは9時30分までに阿部までご確認ください。

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 042-396-3033



園芸の会は1月24日にこの時期恒例の、さくらそうの芽とさぎ草の球根の交換会を行いました。いつもよりは少なめの8人の出席でしたが、楽しくにぎやかに話が進みました。交換会と言っても、実態は藤澤リーダーが丹精込めた芽と球根をいただいて帰ると言う有様です。以前はそれでも何人かがそれぞれのものを持ち寄れたのですが、最近皆全滅状態。決して熱意が薄れたわけではないのですが、夏の異常な暑さに対する対策が追いつかないと言うことのようにです。もっと気合を入れねばと、みんな決意を新たにしました。

次回は4月21日(月)に、さくらそうの開花株の品評会を行います。翌日の4月22日には神代植物園に藤澤さんがたくさん出品するさくらそうの展示会に出かける予定も立っています。詳細は次月号で。なお、3月1日、2日には銀座の東京華僑会館(新橋駅徒歩4分)で開催される、中国らん展(藤澤さんのらんも大量展示)にもお出かけください。

早稲田の歌人たち(3) — 窪田空穂2 — 出田 邦博(S45文)

- ☆ 学徒みな兵となりたり歩み入る広き校舎に立つ音あらず
- ☆ この講義聴くを終りに出でゆくと別れいふ学徒わが顔見詰む

昭和18年10月、明治神宮外苑競技場で出陣学徒壮行会が激しい雨の中行われた。その後、敗戦に至るまで多数の学徒が出征した。早稲田の文学部教授だった空穂の多くの教え子達も入営した若者の姿が消えて閑散とした戦争末期の大学構内。最終講義に聴き入る学生の必死の眼と、教師の無念の思い。淡々とした表現の奥に秘められた老教師の内面の懊悩痛憤はいかばかりであったろうか。時空を越えて惜別の情が迫ってくる。当時の早大は学生の応召や勤労働員のため休講状態が続いていたが、空穂は「出陣した学徒の代わりに学ぶという意識で机に向かった」と、萬葉集評釈の執筆に専念していた。かくも学生を愛し教育、研究に没頭していた歌人が、あの悲惨な戦時中に早稲田には厳然といたのだ。

6年先の東京五輪のメイン会場として大規模な新国立競技場が建設されるが、神宮外苑にある学徒出陣の碑はそのまま末代まで遺しておいてもらいたい。それにしても、各大学には出陣した学生の氏名、その生死、人数などは記録されているのであろうか?

☆ 死ににける時処(ときところ)すら知り得ざるわが子とおもふにあはれに切なし

窪田空穂の応召された次男は、大戦後シベリアに抑留されてその地で亡くなっている。その捕虜死の報がもたらされたのは敗戦後の22年になってのことであるという。痛ましくも厳粛な挽歌である。このような痛恨の思いをした人たちが他にも多くいた事を、一見平和な平成の今を生きる私達は決して忘れてはならないでしょう。

「ふくろう妄語 No. 6」

戸田 志郎 (S43 法)

映画『ハンナ・アーレント』を観る

戦後アルゼンチンに逃亡して生活していたアドルフ・アイヒマンは、60年にイスラエルの秘密警察に拘束、エルサレムに連行されて、裁判にかけられた。アイヒマンは元親衛隊(SS)中佐で、ユダヤ人の収容所への移送の責任者であった。アーレントは、自ら志願して、雑誌『ザ・ニュー Yorker』の特派員としてエルサレムに赴き、この裁判を傍聴した。この裁判の傍聴記録という形を取りながら、全体主義体制の下での道徳的「人格」の解体について論じたのが『イエルサレムのアイヒマン』(1963年)である。

この著作の副題が「悪の凡庸さ(陳腐さ)についての報告」となっている。映画の焦点はここに絞られる。

"600万人のユダヤ人を絶滅収容所に移送した責任者アイヒマンは、命令を遵法した官僚にしか過ぎなかった"。更に"一部のユダヤ人組織のリーダーが、少数のユダヤ人を救うためにナチ協力した"と書き、四面楚歌になる。

「悪の凡庸さ(陳腐さ)とは、アーレントがアイヒマン裁判のレポートで導入した概念で、上からの命令に忠実に従うアイヒマンのような小役人が、思考を放棄し、官僚組織の歯車になってしまふことで、ホロコーストのような巨悪に加担してしまうことで、悪は狂信者や変質者によって生れるものではなく、ごく普通に生きていると思ひ込んでいる凡庸な一般人によって引き起こされてしまう事態をさしている。

映画では、大学から辞職勧告を受けたが、アーレントは学生たちへの講義という形で、反論を決意する。バルバラ・スコヴァ扮するアーレントは、アーレントの存在をかけた魂のスピーチを行う。

"アイヒマンを裁く法廷が直面したのは、法典にない罪です。そして、それはニュルンベルク裁判以前は、前例もない。それでも法廷は彼を裁かれるべき人として裁かねばなりません。"

"世界最大の悪は、平凡な人間が行う悪なのです。そんな人には動機もなく、信念も邪心も悪魔的な意図もない。人間であることを拒絶した者なのです。そしてこの現象を、私は『悪の凡庸さ』と名づけました"

"ユダヤ人指導者の協力で死者が増えた"と主張したことについての学生からの質問に答えて、

"抵抗と協力の中に位置する何かは・・・あったはず。違う振る舞いができた指導者もいたのではと""そして、この問いを投げかけることが大事なんです。ユダヤ人指導者の役割から見えてくるのは、モラルの完全なる崩壊です。ナチが欧州社会にもたらしたものです。ドイツだけでなく、ほとんどの国にね"

"ソクラテスやプラトン以来私たちは「思考」をこう考えます。自分自身との静かな対話だと。人間であることを拒否したアイヒマンは、人間の大切な質を放棄しました。それは思考する能力です。その結果、モラルまで判断不能となりました"

"「思考の嵐」がもたらすのは、知識ではありません。善悪を区別する能力であり、美醜を見分ける力です。私が望むのは、考えることで人間が強くなることです。危機的状況にあっても、考え抜くことで破滅に至らぬよう。ありがとう"

心に響いた拍手がわき起こる。

字幕「"悪"という問題に、ハンナは何度も立ち返った。そして死の間際まで、これに取り組んだのである」

ニューヨークの夜景をバックにクレジット・タイトル。

映画「ハンナ・アーレント」を観終わって、なぜか、安富歩『原発危機と「東大話法」』(2012年)の中で述べられていた"立場主義社会"を思い出しました。

「この戦争を経て、日本社会は、人間ではなく、『立場』で構成するようになった。そうなると人間は、それ自身として尊重されることはなく、『立場』に立って、『義務』を果たすことによるのみ、尊重されるようになる」

「『立場』こそ実在であり、人間はその影に過ぎない」

『東大話法』規則1「自分の信念ではなく、自分の立場に合わせた思考を採用する。」

同好会等 短期予定表

同好会・行事	2月					3月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	—	—	—	—		23	日	*	*		高橋正 042-309-3407
郷土史の会	22	土	10:00	久米川駅北口		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
テニス同好会	12	水	13:00～15:00	運動公園A		21	祝	13:00～15:00	久米川コート3		田島 042-396-7676
	21	金	13:00～15:00	久米川コート3	予備日	23	日	9:00～11:00	運動公園A	予備日	
囲碁同好会	15	土	13:00～	市民センター別館		—	—	—	—		高鷺 042-394-2336
カラオケ同好会	8	土	19:00～	カラオケ家		8	土	19:00～	カラオケ家		内藤 042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		—	—	—	—		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		2	日	12:30～	サロン「園」		
同上	—	—	—	—		16	日	12:30～	サロン「園」第63回大会		阿部 042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—		4	火	13:30～	市民センター2階		市川 042-308-8181
俳句同好会	22	土	14:00～	「丸藤」2階		—	—	—	—		井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		13	木	7:15	西武園GC		紅松 042-393-6924
早稲田スポーツ広場の会	—	—	—	—		—	—	—	—		大内 042-393-6543
パソコン同好会	8	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	8	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅 042-391-0219
	22	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	22	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	
	22	土	15:00～16:00	シルバー人材センター	相談会	22	土	15:00～16:00	シルバー人材センター	相談会	
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		當間 042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

編集局だより

- 203号をお届けします。今回も話題満載。ぎっしりで少し見にくいかもしれませんが、皆さんの思いを細大漏らさず載せることに努力いたしました。
- 最近、長年住んでいるのにあまり知らずにいた（すいません）、地元東村山のことを少し勉強しました。下宅部遺跡の事です。縄文時代の遺跡ですが、日本有数のうるし工芸品やうるし加工場跡などが出土しているのです。すごいと思いました。
- 次号の締め切りは2月22日（土）です。よろしくお願いいたします。

Fax 042-396-5698 email : teruo_tohma@ozzio.jp

俳壇

点描の如き冬芽やバス通り 井垣 稻雀
 大寒のからす悪食ゴミ置き場 出田 麦穂
 凍星や碎け散りたる夢あまた 菊田 一平
 色褪せし万葉捲る置炬燵
 曲独楽の震へ微かに手のひらに 幸田 瑞雄
 双六の天津に一夜泊まるはめ
 太簪の袋に傘寿と太く書き 小亀 稻生
 寒晴の天突く如く辛夷の芽
 ノーサイド釣瓶落しの競技場 高部 糸行
 冬空の暮れる品川船溜り
 冬日向喫煙組が集まりぬ 戸田 梟
 数え日やまず散髪を済ませけり
 遠富士に負けず劣らず息白し 内藤 慎
 軽鴨のむくろ氷の衣をまとい
 大寒や犬も冷たや飛び跳ねる 八木 竜湖
 禅僧の大雪ついて托鉢す
 凍てし夜三時の音が突き抜ける 山下 波雲
 懐湯豆腐に幼な加はる箸をさな
 初あかね遠富士低き地平かな 栗島 三郎
 銭湯の湯気のゆたかに寒の人
 わら帽子分けて顔みせ寒牡丹
 黎明の富士遠景や冴返る